

TOSHIBA

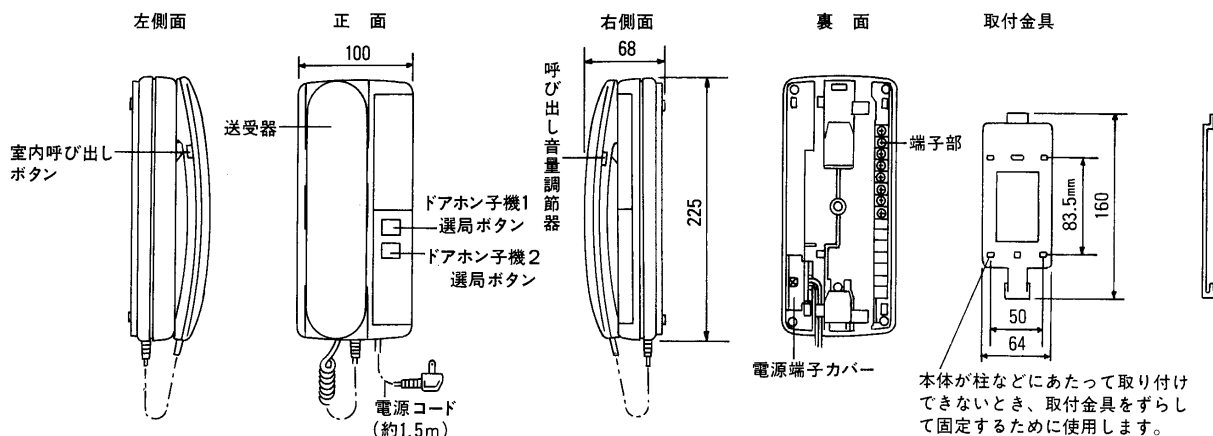
東芝インターホン取扱説明書

ドアホンエースUシリーズ3局用親機HTU-3P

このたびは東芝インターホンをお買いあげいただきましてまことにありがとうございました。

お求めのインターホンを正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

各部のなまえと大きさ(単位:mm)



特にご注意を

- 不要な電波雑音をさけるため、空中配線、AC100V配線との並行配線はおやめください。
- 本体はあけないでください。
- 親機の電源は必ずAC100Vのコンセントに接続してください。
AC100V以外のコンセントに接続しますと故障することがあります。

組み合わせ接続例

■ 組み合わせで使用できる機器

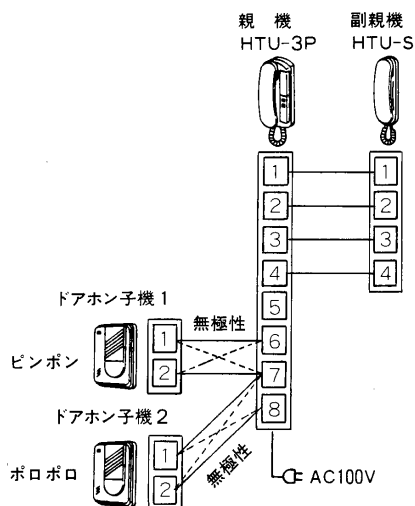
- ドアホンエース2局用・3局用副親機 HTU-S……最大2台(並列接続)
- ドアホン子機 HTU-D(A), HTU-D(K), HTA-D } 2回線(1回線に1台)
HJD1002, HTA-DUX, BT505A
- 呼出増設用スピーカ HJS1001……副親機が無いとき2台、副親機が1台のとき1台
- その他カタログに記載された機器

配線は、各機器の裏面にある端子を利用して、接続してください。

接続例 1

親機1台、副親機1台とドアホン子機2台を接続するとき

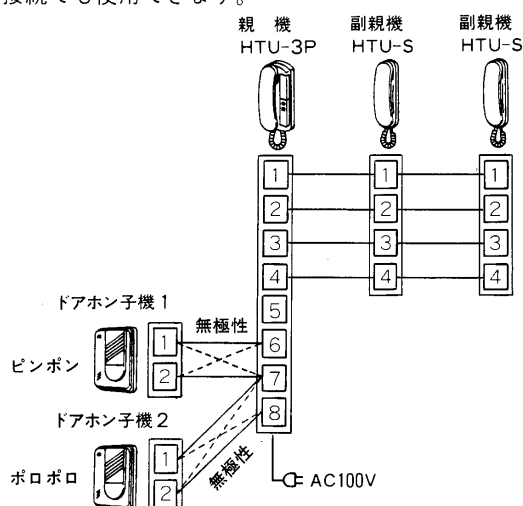
- ドアホン子機からの呼び出しには、親機・副親機どちらからでも応答できます。
- 室内間で呼び出し、通話もできます。
- ドアホン子機は極性がありませんので、点線のような接続でも使用できます。



接続例 2

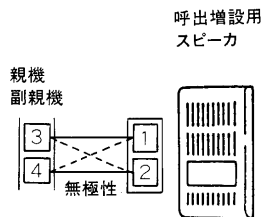
親機1台、副親機2台とドアホン子機2台を接続するとき

- ドアホン子機からの呼び出しには親機、副親機どちらからでも応答できます。
- 室内間で呼び出ししますと、他の2台に同時に呼び出しが掛かります。
- ドアホン子機は極性がありませんので、点線のような接続でも使用できます。



接続例 3

- 呼出増設用スピーカを接続するとき
親機または副親機に鳴る呼び出し音を、離れた場所で聞く場合にこのスピーカを接続します。
- 親機、副親機の③、④の端子に接続してください。
極性はありませんので点線のような接続でも使用できます。
 - 呼び出し音は鳴りますが、通話できません。



接続例 4

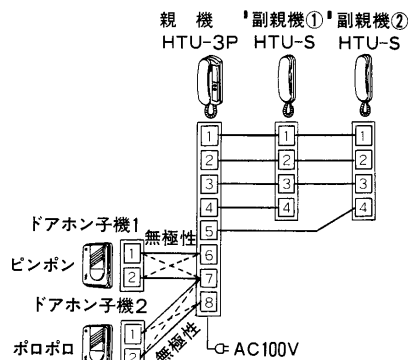
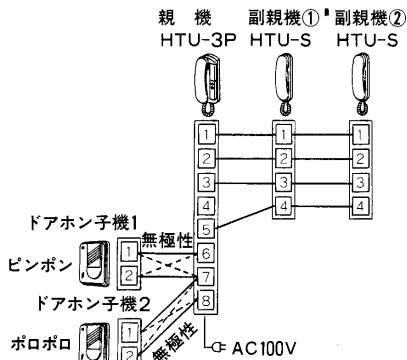
- ドアホン子機からの呼び出し音を、副親機に鳴らさないようにするとき
(呼び出し音は鳴らない場合でも通話はできます。)
- 呼び出し音を鳴らさない副親機の端子④は、親機の端子⑤と接続します。

(例1)

副親機①、②ともドアホン子機からの呼び出し音を必要としないとき

(例2)

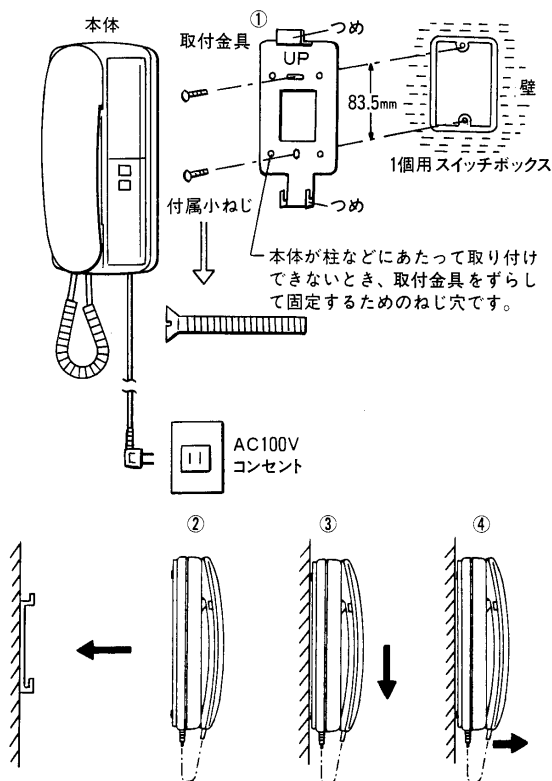
副親機①はドアホン子機からの呼び出し音を必要とし、副親機②は必要としないとき



取り付けかた

■1個用スイッチボックスに取り付けるとき

- ①取付金具を付属のねじ(さら小ねじM4×30mm プラマイ) 2本ですでに取り付けられている1個用スイッチボックスに「UP」を上にして取り付けます。
- ②配線したのち、取付金具のつめに本体の底ぶたの引掛穴を合わせて本体を押し込み、
- ③下方へ引いてください。
- ④正しく取り付けられたか手前に引いて確かめてください。(はずれなければ取付完了です。)

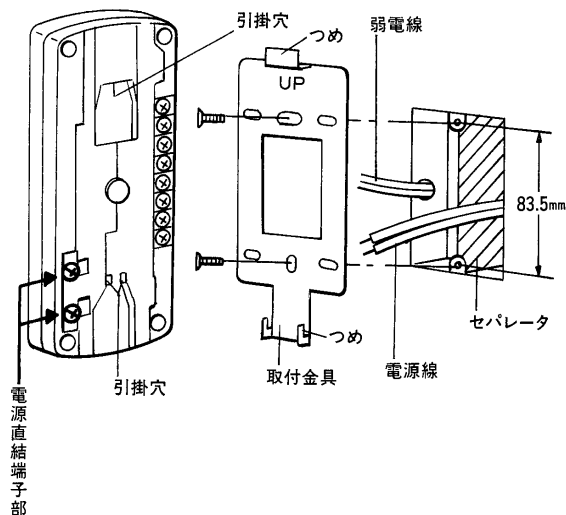


■柱や壁に取り付けるとき

- ①取付金具を付属の木ねじ(丸さら木ねじ4×20mm プラマイ) 2本で柱や壁に取り付けます。(取付金具は、「UP」を上にして取り付けてください。)
- 付属木ねじ -----
- ②以後は上記の1個用スイッチボックスに取り付ける手順と同じです。

■電源を直結するとき

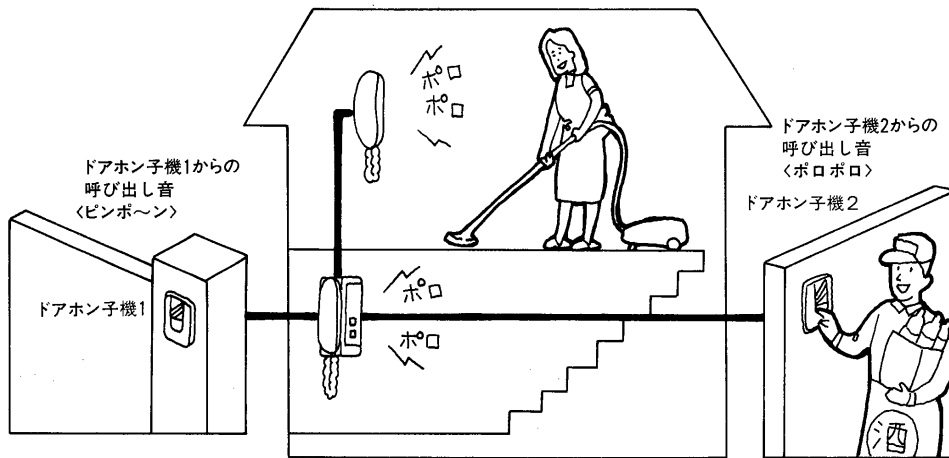
- 電源は親機裏面で直結することもできます。(この工事は電気工事士の資格が必要です。)
- 電源線(AC100V用)と弱電線を同一ボックスに入線する場合、スイッチボックスはセパレータ付きをご使用ください。
- 電源線は電源端子カバーを取り、電源コードをはずしてから接続してください。電源線を接続したら、必ず電源端子カバーを取り付けてください。



使いかた

■ドアホン子機から呼ばれたら

- ドアホン子機の呼び出しボタンを押しますと、親機・副親機で呼び出し音が鳴ります。
(このとき子機でも呼び出し音が小さく聞こえ、呼び出していることが確認できます。)
ドアホン子機からの呼び出し音は2種類ですので、どちらから呼ばれたかがすぐわかります。



- 呼び出し音が鳴りましたら、親機・副親機どちらでも送受器を取れば呼んできた子機を自動的に選局して通話できます。

■室内間での呼び出し

- 送受器を取って通話中でないことを確認したら、室内呼び出しボタンを押しますと、他の室内に呼び出し音(ピー)が鳴ります。(室内に3台使用している場合、残りの2台に鳴ります。)



- 呼び出し音は約1秒間鳴ります。(そのとき自分の受話器からも小さく呼び出し音が聞こえます。)
そのままボタンを押しながら、送話口に向かって話しかけますと、「音声」での呼び出しができます。



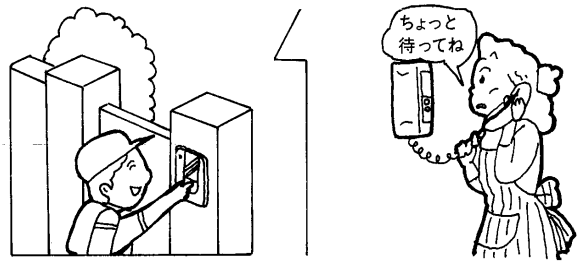
- 呼ばれたら送受器を取るだけで通話できます。
- 相手が出ましたら、呼び出しボタンから指を離して通話してください。

〔ご注意〕

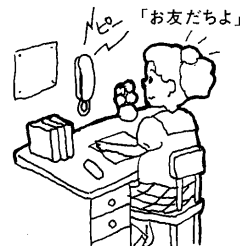
1. 室内間で通話中に、小さく呼び出し音(ピンポンまたはポロポロ...)が聞こえたらドアホン子機から呼ばれたときです。そのときは親機・副親機とも一度送受器を掛け、再度取ってドアホン子機とお話してください。
2. 室内間で通話する場合は必ず、室内呼び出しボタンを一度押してください。押さないで通話しますと、ドアホン子機に通話が漏れます。

■ドアホン子機との通話を他の親機または副親機に転送するとき

- ① ドアホン子機側に転送することを伝えます。



- ② 室内呼び出しボタンを押し、転送先を呼び出して、ドアホン子機と通話するように知らせます。
(このとき、ドアホン子機は切れています。)



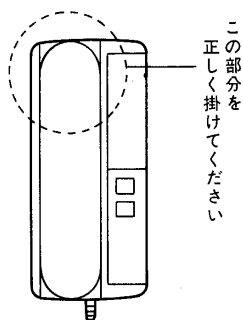
- ③ 親機・副親機の両方とも一度送受器を掛けます。
- ④ 転送先の送受器を再度取りますと、ドアホン子機とつながりますのでお話してください。

■室内からドアホン子機を呼び出すとき

- ドアホン子機を呼び出す場合は、送受器を取りあげ、親機の選局ボタンで子機を選局し、「音声」で呼び出してください。(呼び出し音では呼べません。)
- 副親機には選局機能がありませんので、いったん親機を呼び出し、親機にドアホン子機を選局してもらい、「音声」でドアホン子機を呼び出してください。(親機は選局ボタンを押した後送受器を掛けてください。)
副親機は送受器を持ったままで通話に入ります。

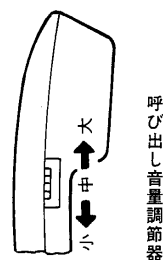
■通話が終わったら

- 通話が終わりましたら送受器をもとのように正しく掛けてください。正しく掛けませんと呼ばれても呼び出し音が鳴りません。



■呼び出し音量の調節は

- 送受器右側面の呼び出し音量調節器で大・中・小の3段階の調節ができます。お好みの音量に調節してご使用ください。



- 呼出増設用スピーカ(HJS1001:別売)の音量調節はできません。

ご注意とお願い

このインターホンは屋内専用で-10℃～50℃の温度範囲で使用するよう設計してつくられています。

つぎの場所には取り付けないでください。

- ストーブなどの暖房器具の真上やその付近。
- 直射日光のあたる場所。
- 製氷倉庫など-10℃以下になる場所。
- 浴室など特に湿度の高い場所。
- 有害ガスやいろいろなほこりの特に多い場所。
- 水や薬品がかかるおそれのある場所。

お手入れのしかた

- 本体や送受器はやわらかな布でからぶきしてください。汚れがひどいときは石けん水を浸した布をよくしぼってからふいてください。
- 機器をいためますので、ガソリン・ベンジン・シンナーなどの薬品でふかないでください。

修理サービス

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ親機の電源プラグをコンセントから抜いて、お買いあげの販売店(工事店)または、お近くの東芝お客様ご相談センターにご相談ください。

なお、ご相談されるときは形名(HTU-3P)およびお買いあげ時期をお忘れなくお知らせください。

仕 様

- 通話方式 電話形同時通話式
- 電 源 AC100V 50Hz, 60Hz共用
- 消費電力 1W(待受時), 3.5W(最大時)
- 呼出信号
 - ドアホン子機1から:電子チャイム音
(ピンポン)
 - ドアホン子機2から:電子リモロ音
(ポロポロ)
 - 室内間:電子発振音(ピー)の後
音声呼び出し
- 選局方式 被呼出時:自動選局方式
呼 出 時:押ボタン選局方式
- 配線本数 親機 ~ ドアホン子機:2線(無極性)
室 内 間 :4線
親機~呼出増設用スピーカ間:2線(無極性)
副親機~呼出増設用スピーカ間:2線(無極性)

呼び出し音量調節器付
(3段階替式)

●通達距離

線種	公称断面積	0.3mm ²	0.5mm ²	0.75mm ²	1.25mm ²	2mm ²
	(本/mm)より線	12/0.18	20/0.18	30/0.18	50/0.18	37/0.26
(mmφ) 単芯線		0.65	0.8	1.0	1.2	1.6
距離 (m)	1:親機-ドアホン子機間	150以下	250以下	300以下	600以下	1000以下
	2:室 内 間 (注)	150以下	250以下	300以下	600以下	1000以下
	3:1+2の合計距離	150以下	250以下	300以下	600以下	1000以下
	4:親機・副親機-呼出増設用スピーカ間	150以下	250以下	300以下	600以下	1000以下

(注)副親機を2台接続し送り配線する場合は、上記の距離の半分になります

- 設置場所 屋内専用 (使用周囲温度-10℃～+50℃)
- 重 量 約730 g
- 外観材質 プラスチック (ABS樹脂)
- 色 調 本体:ホワイト
呼び出しボタン・ドアホン選局ボタン:グレー
- 付 属 品 取扱説明書……………1部
東芝お客様ご相談センター…………1部
取付金具(本体に付属)…………1個
小ねじ(M4×30)……………2本
木ねじ(4×20)……………2本